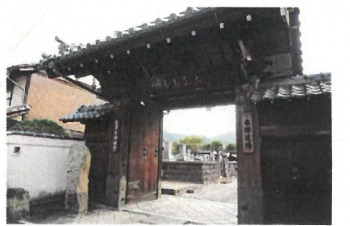


必見！津山の寺町！

約四百年！守られ続けている長安寺

伝統を守り続ける方々

長安寺の住職は、久保泰道さんです。また副住職は今回お世話になった久保泰道さんです。現在長安寺では、坐禅体験や抹茶体験などの様々な活動を行っています。なぜ、このようば活動をするのかと伺います。ところが、お寺のことや仏教を知らずともういたいとおっしゃってました。また待つ、ているだけでは広がらないと考へ日本各地の人と坐禅ができるといふことと、ZOOMを使って坐禅をしたり、日々と飛び越えて外国の方と英語で坐禅をしたりなど文化を継承・伝承するのにも貢献しております。この地域だけでなく、海外の方々とも交流しております。ごいごと思いましたが、また、抹茶体験は久保泰道さんのお母様が教えてくれました。みなさんは三種類の礼の仕方があるのを知っていますか？礼の仕方や抹茶の飲み方お菓子の食べ方などを教えてもらえます。久保さんのお母様も日本の伝統文化を継承・伝承している方の一人です。このように長安寺には色々な伝統を守っている方々がたくさんいることがわかりました。

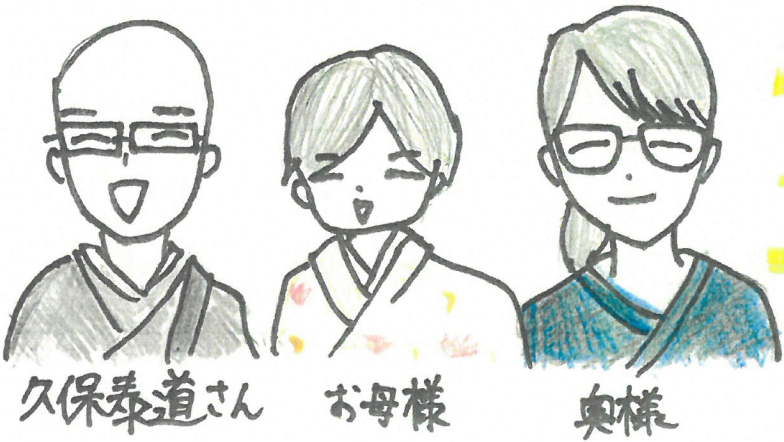


長安寺の歴史
菅洞宗のちががある
長安寺は正保元年に
開創された。
開創したこの頃、
山門の裏には明和三年
という刻銘があり、古風
な顔は美しく見えます。

この長安寺は明治維新の秋葉
三太郎大権現を奉安しているろう、
本堂前には水戸勤王を祀っており、
生命の尊厳や安んずる無難安産
を説いています。

また江戸時代には津山藩の兵学
指南役として神倉流を指導して
いて、東作試の編纂を行っていた
正木兵馬の鉄劍の墓もあつうた
坐禅道場として毎月坐禅会など
開催して、広く坐禅道場を呼びかけています。
このような活動を行うことで、
「お寺の仕切りを低くしたい」として
皆様が気軽に参加しやすいものにした
と考へているそうです。

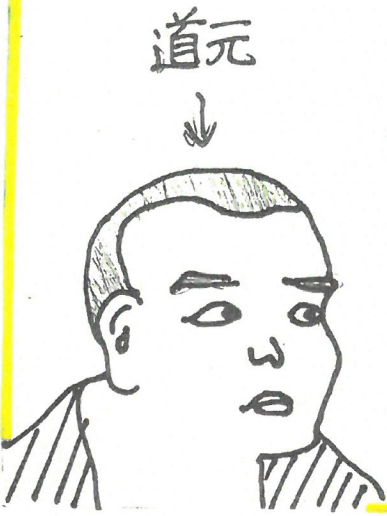
今日！ 長安寺で お世話になった 方々



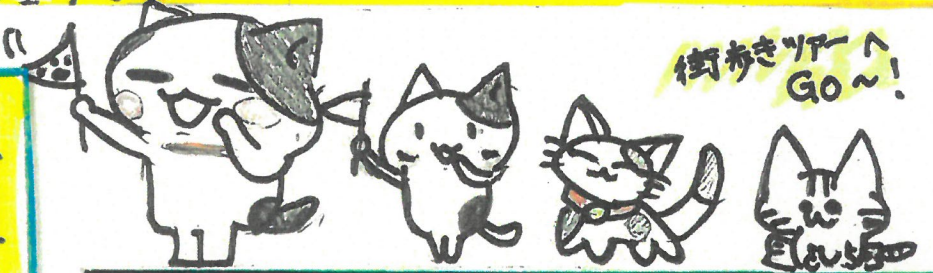


長安寺について

長安寺は西寺町の路地を入り込んだところにあります。明治の年ほどの歴史があり、現在は久保菜園道場の敷地内です。現在には久保菜園道場の敷地内にあり、長安寺は曹洞宗の寺院です。鎌倉時代には道元が曹洞宗の祖師として入京して、長安寺に曹洞宗の本山として建てられました。曹洞宗は南無釈迦牟尼仏を唱えており、釈迦牟尼仏を本尊として祀ります。



街歩きツアーへ!
GO~!



一本筋から外れないとは?

長安寺は、城西地区のお手を回る街歩きツアーや、姿勢を正して精神統一をする坐禅体験、抹茶を飲んだりして楽しむお茶体験など、さまざまな活動を企画しています。このようなイベントをする本筋としては、「お寺に来るハードルを下げたい。お寺のことを知ってもらいたい。」という事だそうなので、その本筋から外れないようにすることに努めています。お寺、やろうとしていた事は違いますが、行っていることが多々あるのび、気がついてきました。感じました。



坐禅 & 抹茶体験!

坐禅

坐禅は、坐蒲というクッションのようなものに座して行います。部屋の壁側を向いて何も考えず、腹式呼吸をして坐ります。途中に「警策」という木の板で肩を打ってもらいます。とても落ちついてきます。



簡単な家でできるお稽古もいろいろあります。ぜひお越しください。

抹茶

抹茶体験では主に3つの礼があり、軽い礼、普通の礼、深礼。頭を下げる礼があります。うまく使い分けてお菓子を受け取り、いただきます。次に抹茶を飲みます。器を回し、最後に「ス」と音を立てて飲むのが、色々な作法があります。



日本の伝統文化を感じられて楽しかったです。おもしろかったです。



長安寺にはいろいろな冊子もありました!

坐禅について書かれているもの、食事の前などに唱えるお唱えが書かれているもの、英語で坐禅など色々なことが説明されているもの。英語で坐禅など色々なことが説明されているもの、坐禅についてだけでもたくさん種類があり、簡単なイラストがたくさんあるものや、本格的に書いているものもたくさんあります。



この地域で僧として働くことへの原動力

実は色々やっています。自分たちで地域をもっと盛り上げたい、もっと地域の良さを生かして面白くしたいという気持ちから原動力だそう。お寺というと、一般の方とあまり関わりが無いようなイメージですが、そんなイメージをなくしたい。お寺と、仏教に関わりたい。そんな思いで日々活動しているそうです。今はコロナの影響で皆さんのイベントが中止されたり縮小されたりしていますが、もっと地域を盛り上げたい。早くコロナが収まるといいですね。

